

[デートスポット](#)の一つで、全作品に登場。

ちなみに『1』と『2』では「ボーリング」表記だが、球技の方の表記は「ボウリング」が正解である（「ボーリング」だと土木用語になる）。

## 概要

登場条件は

- 『1』：3年目秋以降に行けるようになる（要[情報誌](#)確認）。
- 『2』：1年目秋以降か3年目夏以降に行けるようになる（要情報誌確認）。
- 『3』：映画館でデートした後、2年目の秋以降に街エリアで散策して発見すると行けるようになる。  
なお、『3』ではボウリングのミニゲームがある。
- 『4』：1年目3月以降にアミューズメントスポットから行けるようになる。
- 『GS』シリーズ：最初から行ける。

なお、『2』では3年目夏、『GS1』では2年目5月（要情報誌確認）以降はビリヤードも選択可。

また『GS1』では3年目5月以降に卓球が、

『GS2』では2年目1月以降、『GS3』では2年目4月以降にダーツが選択可能となる（要情報誌確認）。

特にここが好きキャラはいないのだが、やはり[運動系](#)のキャラには喜ばれるスポットの一つであるようだ。

素人のボウリングならあんまり運動神経は問われない気もするのだが。

『2』本編では[八重花桜梨](#)のアベレージは180だという台詞が聞けるのだが、『[MRO](#)』で一緒にボウリングをすると80も行かないことが多い。

花桜梨に限らず『MRO』ではほとんどの女性キャラはさほど強くない。

と言うのも『MRO』のボウリングは後述の『3』のものに比べると、現実のボウリングからかなり乖離しており、中々まともなゲームにならないのである。

例えば[一文字茜](#)、[赤井ほむら](#)等のパワーキャラが全力で投球すると、ヘッドピンを捕えているのにそのまま突抜けて3ピンしか倒れないといった有り得ない事が起きる。

ほむらは「力み過ぎかなー」などの台詞を吐くが、そういうレベルの話ではない。

逆に『3』のキャラはかなり強い。特に運動系のキャラだとスプリットにならない限りはスペア連発で見事にスコアメイクしてくる。

スプリットになると確実にいく場合と果敢にトライする場合があるようだ。俗にスネークアイと呼ばれる7-10ピンのスプリットでも稀にクリアしてみせる事がある。

また、[陽ノ下光](#)や[橘恵美](#)、[真咲元春](#)、[氷室零一](#)（ビリヤード）、[若王子貴文](#)（ダーツ）あたりからは、毎週のようにお誘いを受けるデートスポットでもある。

## このスポットでデートイベントが発生するキャラ

- 『1』：[清川望](#)
- 『GS1』：[葉月珪](#)（ビリヤード）
- 『GS2』：[針谷幸之進](#)（ダーツ）、[天地翔太](#)（ボウリング）

（イベントの発生条件等の詳細は、各キャラの攻略の項を参照）

## 関連項目

- [地名・デートスポット](#)